令和　5　年度　　国　　語　　科　シラバス

科　目	文学国語	単位数	1	履修学年・クラス（講座）	２年・全クラス
使用教科書	「文学国語」（筑摩書房）				
補助教材等	「文学国語　準拠ワーク」（筑摩書房）				

1　学習の到達目標

言葉による見方,考え方を働かせ,言語活動を通して,国語で的確に理解し効果的に表現する資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

(1) 生涯にわたる社会生活に必要な国語について,その特質を理解し適切に使うことができるようにする。【知識及び技能】

(2) 生涯にわたる社会生活における他者との関わりの中で伝え合う力を高め,思考力や想像力を伸ばす。【思考力・判断力・表現力】

(3) 言葉がもつ価値への認識を深めるとともに,言語感覚を磨き,我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち,生涯にわたり国語を尊重してその能力の向上を図る態度を養う。【学びに向かう態度・人間性等】

2　学習方法等（授業担当者からのメッセージ）

○社会生活を円滑に営む上で必要なコミュニケーション力の基となる「言葉」の力を身に付けるための大切な授業です。学習活動それぞれのねらい・目的を意識しながら,積極的に授業へ取り組んでください。

○予習として本文を通読し,意味のわからない語句を明らかにしておきましょう。内容的に疑問を抱いた点については授業内で解決し,授業後はふり返って内容を確認してください。

○授業では「読む」「書く」活動だけでなく,「話す」「聞く」活動も行います。互いに相手が理解しやすいよう工夫を凝らしつつ自分の考えや思いを伝え合うことで,思考力を鍛え,表現力を磨くことができます。

○国語力の伸長を図ることは,短期間で効率的にできることではありません。日頃から本を読み,活字に慣れ親しむことで,語彙力を増やし,表現の幅を広げ,豊かな日本語の力を身に付けるよう心掛けましょう。

3　学習評価

評価の観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
科目ごとの評価の観点の趣旨	生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに,我が国の言語文化に対する理解を深めている。	「書くこと」,「読むこと」の各領域において,深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばすとともに,他者との関わりの中で伝え合う力を高め,自分の思いや考えを広げたり深めたりしている。	言葉がもつ価値への認識を深めようとしているとともに,生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ,我が国の言語文化の担い手としての自覚をも深め,言葉を通して積極的に他者や社会に関わったり,ものの見方,感じ方,考え方を深めたりしている。
主な評価方法	・ペーパーテスト(事実的な知識の習得を問う問題及び知識の概念的な理解を問う問題）の結果	・ペーパーテスト ・レポート記述内容 ・グループでの話合いや発表などの場面での観察	・授業中の発言内容や行動観察 ・生徒による自己評価や相互評価の様子及び記述内容 ・グーグルフォーム上の課題の取り組み,または課題の提出状況

４　学習及び評価計画

※評価の観点：（a）知識・技能，（b）思考・判断・表現，（c）主体的に学習に取り組む態度

月	単　元	教　　材	時数	学　習　内　容	評　価　規　準
８ ９	ことばから広がる世界	「プラスチック膜を破って」	5	・「プラスチック膜」とはどのようなものか,読み取る。 ・同じことばや改行がもたらす効果を,読み取る。	・文章の効果的な組立て方や接続の仕方について理解している(a) ・文章の種類を踏まえて,内容や構成について叙述を基に的確に捉え,要旨を把握している(b)
９	物語との出会い	「神様」	8	・語り手と「くま」が,互いに相手をどのように感じ,行動しているかを,情景とともに想像しながら読み味わう。	・言葉には，認識や思考を支える働きがあることを理解している(a) ・本文中の心情を示す言葉を根拠に，読解を深めている(b)
10	ことばから広がる世界	「情報の彫刻」	5	・筆者は紙の書籍の魅力をどのような点にあると考えているか,読み取る。	・文章の効果的な組立て方や接続の仕方について理解している(a) ・文章の種類を踏まえて,内容や構成について叙述を基に的確に捉え,要旨を把握している(b)
11	物語との出会い	「山月記」	9	・作中人物のやり取りに注目し,小説の中の会話の表現方法を理解する。	・語彙を豊かにしている(a) ・李徴の生き方についての自分の意見をまとめ，伝えようとしている(b)(c)
12 １ ２	背後にあるメッセージ	「実体の美と状況の美」 「メディアと倫理」	8	・美意識の中に潜む文化的な基準を,歴史上のさまざまな事例からたどる本文を読み取る。 ・本文を通して映像メディアと接する際の留意点を理解することを通し,文学作品特有の表現力について考える	・具体と抽象の区分け,すなわち個別の情報と一般化された情報との関係について理解している(a) ・内容や書き手の意図を解釈し,自分の考えを深めている(b) ・自分の考えをまとめ,表現を工夫して説明しようとしている(c)